

# コミュニティ だより

徳島市  
徳島市コミュニティ協議会  
徳島市幸町2丁目5番地  
TEL(088)621-5510  
FAX(088)621-5511

## 二〇二四年を迎えて



徳島市長 内藤佐和子

明けましておめでとうございます。  
新しい年を穏やかに迎えることと謹んでお慶び申し上げます。  
皆さまには、日頃よりコミュニティ活動に深いご理解と多大なるご尽力をいただき、心よりお礼を申し上げます。  
さて、我が国におきましては、少子高齢化の進行などを背景として、今後、人口減少が加速していくと予測されて

おり、本市におきましても、地域経済を支える労働力の不足や、地域コミュニティの活力低下など、様々な影響が懸念されているところでございます。こうした状況にあっても、地域社会を持続させていくためには、行政だけでなく、地域の方々による主体的な取組が不可欠であり、それぞれの地域でご活躍されている皆さまはもとより、企業、NPOをはじめとする団体とも緊密に連携しながら取り組むことが重要であると考えております。本市では、地域の活性化や地域課題の解決に向けた取組を、SDGs推進の柱のひとつとして掲げており、

様々な企業・団体・個人の参画を求めながら、各種施策を推進しているところでございます。

そうした中、地域コミュニティに携わる皆さまの積極的で献身的な活動は、人と人とのつながりや地域の絆を深めていくものであり、地域による主体的なまちづくりの推進に当たり、大変心強く、改めて敬意を表する次第です。

本市といたしましては、先人から受け継いだ文化や伝統

\*\*\*\*\*

## 新年のご挨拶

徳島市コミュニティ連絡協議会

会長 島田 和男



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにとりましては、輝かしい新年をお迎えのことと拝察いたし

を大切に守り育てながら、このまちを良くしたいと想う多様な人々とともに、将来にわたって持続可能な徳島市を目指してまいりますので、今後とも、皆さま方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとつて輝かしい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年を振り返ってみますと、三年間続いたコロナ感染症が重症化する確率が低くなり、インフルエンザ並みの第五類に移行しました。これによりいろいろなイベントや団体旅行が復活し、少しずつではありますが、経済状況もよくなりつつあります。

私たちの参画している徳島市コミュニティ連絡協議会においても「徳島市コミュニティまつり」や「研修会」等も正常に戻りつつあります。

また、世界的に温暖化が進み、世界のあちらこちらで山火事や大地震、大雨や大型化した台風により大水害が発生し、たくさんの方々が避難生活を余儀なくされています。徳島市は幸いにしてこしばらくは大きな災害に遭っていませんが、全国のあちらこちらで線状降水帯のもたらす大雨による水害や大きな地震が発生しています。私たちは他人事としてみないで、いつも町の責任者としての自覚を持ち、防災対策に関心を持ち、いつ災害が発生しても対応できるように準備しておかなければならないでしょう。

私たちの町は、わたしたちで運営し助け合い、協力し合い絆を深め守っていかねばならないと思っています。最後になりましたが、会員の皆さまにとりましては、良い年になるようご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

# 地域貢献高齢者顕彰

令和五年十月一日に開催された置市記念式典において徳島市地域貢献高齢者顕彰制度に基づき、日ごろから地域のコミュニティ活動に貢献されている方々に対し、内藤佐和子市長から感謝状の贈呈が行われました。

市長からの祝辞の後、受賞者を代表して西富田コミュニティ協議会の細井啓造氏より謝辞が述べられました。顕彰されたのは次の方々です。



地域貢献高齢者顕彰記念 令和5年10月1日

内町まちづくり協議会

浦 光雄

新町コミュニティ協議会

阿部 征佑

西富田コミュニティ協議会

細井 啓造

昭和コミュニティ協議会

和田 茂

渭北街づくり協議会

森 敏之

佐古コミュニティ協議会

山本 早苗

沖洲コミュニティ協議会

田中 稔

加茂名まちづくり協議会

向 征男

加茂コミュニティ協議会

中井 文明

八万町各種団体連絡協議会

二宮 治海

八万中央コミュニティ推進協議会

明野 タネ

八万コミュニティ推進協議会

三橋 安江

多家良中央コミュニティ協議会

西野 博幸

丈六コミュニティ協議会

庄野 徳保

一宮下町づくり推進協議会

山口 貞美

不動コミュニティ協議会

久次米孝司

川内まちづくり協議会

植田 和則

応神町コミュニティ協議会

坂東 清英

国府コミュニティ協議会

戸井田龍行

南井上コミュニティ協議会

松下 艶子

北井上地区コミュニティ協議会

山下 治郎

(以上行政区順)



西富田コミュニティ協議会

細井 啓造

本日、地域貢献高齢者として顕彰していただきました二十一名を代表して、一言、お礼を申し上げます。

本日は、大変ご多忙中のところ、市長様、市議会議長様をはじめ、多数の皆さま方のご臨席を賜り、盛大に地域貢献高齢者顕彰式を開催していただき、誠にありがとうございます。

私も、これまでそれぞれの地域において、コミュニティ活性化のため、多種多様なまちづくり活動や生涯学習

活動に、長年にわたり取り組んで参りました。本日、こうして顕彰していただいたことは、これまでの努力が評価されたものであり、大変光栄に存じます。このような活動を展開できましたのも、行政機関や関係団体のご支援・ご協力のお陰だと、深く感謝申し上げます。

私も、今回の荣誉ある顕彰を励みとし、なお一層精進を重ね、すべての世代が共生する地域づくりと徳島市の活力ある発展のために、微力ながら引き続き取り組んで参ることをお誓い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。



西富田コミュニティ協議会 細井啓造 氏

本年もよろしく

お願いいたします

沖洲コミュニティ協議会

会長 三栖谷高照

津田コミュニティ協議会

会長 島田 和男

加茂名まちづくり協議会

会長 宮本 昌美

加茂コミュニティ協議会

会長 宮崎 忠司

八万町各種団体連絡協議会

会長 矢田 嘉昭

八万中央コミュニティ推進協議会

会長 福永佐知子

八万コミュニティ推進協議会

会長 藤田 恒子

勝占地区コミュニティ連合会

会長 田中 稔

勝占中部コミュニティ協議会

会長 竹内 鋭治

勝占東部コミュニティ協議会

会長 谷口 榮一

多家良地区連合協議会

会長 赤坂 伸一

多家良中央コミュニティ協議会

会長 高山 宏行

丈六コミュニティ協議会

会長 梅本 辰雄

不動コミュニティ協議会

会長 大川 良文

入田町まちづくり協議会

会長 森 政雄

上八万コミュニティ連合協議会

会長 川人 泰博

# 一宮城跡と田づくり

一宮城跡保勝会 会長 市村 治

一宮城跡は、一宮神社の東の山上にあり、本丸から東は紀伊水道、北は淡路、西は神山の各方面が遠望できます。



環境整備前勢ぞろい

登城口から本丸まで約六五〇メートル。坂と階段、各所に少し平坦なところがあります。脚力だめしの登城、いかがでしょうか。五つの主な曲輪跡と陰滝を回つても、約二キロメートルの山城です。

一宮城は、南北朝期の築城以来、蜂須賀公が徳島城に居城を移すまで、阿波の主要な城でありました。時を経て、昭和二十九年八月、「一宮城跡」として県史跡文化財に登



一宮城を楽しむ

録されています。

同月、有志が一宮城跡保勝会を設立。以来今日まで、一宮下町の人々の交流の場であり、また町づくりの主要な組織として活動を重ねてきました。その内容の主な三点は、  
・一宮城跡や周辺の環境整備  
・一宮城跡の保存と活用  
・景勝の紹介・案内・研修会です。

設立以来、手弁当や私宅を使っての婦人会の炊き出し（後にコミセンで弁当作り）や、自前の鎌や草刈機の使用などが長らく続いたこと、お城は大切に後世に残さなくては、との思い一筋で、保存に取り組んできたこと、また寄る年波で城山に登れなくなつては若い人を説得したことなど、世代間の交流や継承の場として役立ってきました。

現在、定期の環境整備活動は年三回（六月、十月、十二月）で、きつい奉仕作業にも七十年前後の参加があります。一宮城跡は、平成二十九年、

日本城郭協会から「続日本百名城」の指定を受け、登城者・訪問者が急増し、それまでは年間三百部程度の城山パンフレットが、令和四年は二千七百四十二部使われました（登城口の分のみ計上）。

同会のもう一つの主要な行事は、「初日の出の出遣拝」です。遥拝時、漢詩『一宮城址に初日を拝す』（上田松花作）を本丸で吟じます。老若男女、六十数名が参加します。「二宮よいとこ蜂須賀さんの昔なつかし城下町」（一宮小唄）の心を生かし、また所属の諸団体との連携を深めて、コミュニティ活動の振興に取り組んでいく所存です。



初日の出遣拝  
一宮城跡本丸にて

新たなる光

- 上八万コミュニティ協議会 会長 阿部 増江
  - 一宮下町づくり推進協議会 会長 祖川 信明
  - 川内まちづくり協議会 会長 中山 晃治
  - 川内南コミュニティ協議会 会長 松本みづる
  - 応神町コミュニティ協議会 会長 濱井 利教
  - 国府コミュニティ協議会 会長 大貝 誠治
  - 新町コミュニティ協議会 会長 前川 佳弘
  - 西富田コミュニティ協議会 会長 石原 誠治
  - 東富田コミュニティ協議会 会長 松ノ内 清
  - 昭和コミュニティ協議会 会長 松岡 勤
  - 渭東コミュニティ協議会 会長 中嶋 修三
  - 住吉・城東地区町づくり協議会 会長 浜田 耕市
  - 渭北街づくり協議会 会長 近藤 辰夫
  - 佐古コミュニティ協議会 会長 吉田 紘
  - 南井上コミュニティ協議会 会長 猪口 一
  - 北井上地区コミュニティ協議会 会長 伊川 幸治
  - 内町まちづくり協議会 会長 宮澤 武志
- (順不同)

# 夏休みラジオ体操

沖洲コミュニティ協議会

徳島市の地域モデル事業の一環として、平成二十九年の夏休みから、沖洲地区ラジオ体操が始まりました。

運営はコミュニティの各構成団体からご協力をいただき、早朝六時三十分から沖洲小学校の運動場で、小さな子どもから父兄やお年寄りまで、二百名余りが集まって、元気にラジオ体操を行いました。年長の六年生が皆の前で体操の指導をして、終わってからは、下級生や出席者全員の出席カードに印を押して楽し



6年生が出席の印を押しているところ



6年生のお手本

く散開しました。

夏休みラジオ体操の期間中は、PTAの皆さまを初め、各団体の方々が、早朝より子どもたちのラジオ体操を見守っていただきました。

令和五年七月にはスポーツ飲料や、皆さまからのご厚意でいただいたティッシュペーパーやミニタオルをプレゼントしました。八月の最後の体操の日には、色々な景品が当たるくじ引きを予定していましたが、雨で中止になりました。

二学期が始まったらラジオ体操のカードを回収して、沖洲小学校の生徒や、幼稚園、保育所の子どもたち全員に参加賞を、頑張った子どもたちには皆勤賞・努力賞を、六年生には別に協力賞をプレゼントしました。

令和二年から令和四年まではコロナでやむなく中止になりましたが、昨年は四年ぶりに開催しました。当初は久しぶりなので子供たちが集まるの心配していましたが、初日から百五十名程の子どもや父兄、お年寄りが集まり、令和五年の夏休みラジオ体操を盛大に行うことができました。今後、地域の皆さまの協力をいただいで、末永く続けていきたいと思っております。



じゃんけん大会

## 「多家良・八多地域の町づくりの取り組みについて」

多家良中央コミュニティ協議会

多家良中央コミュニティセンターは開設二十年を迎えることになりました。大きな社会環境の変化に対応していきながら、活力ある地域社会を続けていくためにも、将来を担う子どもたちの育成や高齢者への支援や災害から地域住民の生活を守るための防災対策の活動を継承して、安心安全な町づくりを目指したいと思っております。

本年度の四月から、コミュニティセンター内に学童保育クラブが開設されました。令



学童保育クラブの風景

和三年度に地域の保護者へのアンケート調査の結果から親が働いている家庭が多く、学童保育クラブの必要性が高いことが分かり保護者の方、地域の方、他学童の方と設立に向けて、準備委員会を立ち上げ活動し、協議を重ねた結果、センターに開設できる運びとなりました。現在、受け入れできる定員数で運営していただいでいます。子どもたちの元気な声がかきこえてきて、館内が明るくなったと感じております。子どもたちが、安全



「災害避難支援マップ作成」作業 (ワークショップ)

に楽しく健全に過ごせる居場所として、長く運用していただければと思っています。

高齢者を対象とした、移動販売車（業者はマルナカ）の提案を、福祉協議会と包括支援センターからお話をいただき、多家良・八多協議会、民生委員の方に協力していただき、令和五年二月から、毎週木曜日に八多地区で五か所、多家良地区で四か所、巡回して利用していただいております。特に、店舗がない地域では、多くの方に利用していただき好評だと伺っております。

また、地区の自主防災連合会に、市の防災対策課から「災害避難支援マップ作成事業」のお話をいただき、令和五年六月から取り組んでおります。徳島大学の田村准教授の指導のもと、四回のワークショップを開催し地域住民の代表者七十名の参加によって、実際に地域を歩いてみて、避難経路の危険箇所や注意を要する場所の確認、地域に沿った避難場所の設置の検討を行ってまいりました。令和五年十月に完成し、この防災マップを活用し、地区防災訓練の実施を令和五年十一月に行いました。

# インターネットを活用して

## 昭和コミュニティ協議会

昭和コミュニティ協議会では、昭和公民館と共催し様々な事業を行ってきました。

令和五年度の統合に伴い、最後の共催の催しが「学習発表会」となりました。いろいろな講座の受講生が日ごろの練習の成果を披露する



発表会「はじめてのウクレレ」

場として続けています。コロナで一年は休みましたが、翌年には舞台と客席の間を広くあけて、次の年には二カ月延期し、透明のパーティションをずらつと並べて実施しました。令和四年度の発表会は出演者が増えたこともあり、コロナ前を上回る百名近い参加がありました。

コーラス・ウクレレ・朗読・フラ体操・楽器演奏・ダンスなどを披露しました。

このような発表の場があると、日々の練習にも力が入り、より熱心にレッスンを受けるようになるため、とても大切なものだと思います。

また令和二年度に開講した「はじめてのウクレレ」はとても好評で、今では四クラスに増えました。講師は昭和町の先生なのですが、現在は東京が活動の拠点となっているため、帰郷は月に一度。でも月に一度のレッスンでは少ないというので、もう一回をリモートでもらっています。



リモートレッスン

ます。受講者がコミセンに集まり、ZOOMを使ってプロジェクトで大寫しにしてのレッスン。八十歳を過ぎて始めた方もいて、画面と音のタイムラグや自分の手元がカメラに映るように座る位置を調整するなど、戸惑いもありましたが、徐々に慣れてきて



パーティションで仕切った発表会

レッスンを楽しんでいます。先生もライングループを作り、レッスン動画などをアップしたり、ブログを紹介したりと、インターネットを駆使して皆さんが自宅でも練習しやすい工夫をしてくださっています。

コミュニティ協議会の活動の一部である生涯学習講座が今後も発展していくように、いろんなところにアンテナを張って、アイデアや工夫を取り入れながらこれからも進めていきたいと思います。

# 令和5年度 住吉・城東子ども福祉まつりの開催

渭東地区社会福祉協議会 住吉・城東支会  
住吉・城東地区町づくり協議会

令和五年八月二十八日、住吉・城東地区の子ども福祉まつりをコミュニティセンターにおいて開催いたしました。新型コロナウイルスのため、福祉まつりも四年ぶりの開催となりました。じつは住吉・城東地区の福祉まつりは四年前までは、住吉神社の夏祭り

(七月三日)に合わせて、神社境内の空地を借りて昼間に、大人・子ども関係なく、踊り・ゲーム・抽選会などを行ってきました。昨年は開催の決定も遅れ、準備の期間もあまりなかったため、急遽、会場をコミセンに、そして、子どもたちだけのイベントにしよう

という形で開催させてもらいました。準備時間も少ないので、内容も三つのゲームと物づくり、そしてお楽しみ会(抽選会)に絞り、開催いたしました。ゲームとしては室内用のカーリングと住吉地区独自のゲーム(すみよしコロリン)の実

施と、児童館が中心になり、さかなすくいゲームを行いました。物づくりは自分だけのうちわ作り、あやとり、折り紙教室を行いました。広報の日にも短く、夏休みということもあり、多くの来場者はないだろうとの想定で七十〜八十人くらいは参加してくれるかなと思っていました。ところが百五十人近い子どもたちが集まってくれて会場が満杯になり予定していたなかった部屋も、急遽開けて待合所にするなど、うれしい悲鳴となりました。

最後に行われた抽選会は大いに盛り上がり、無事終了することができました。今回の福祉まつり、三年間休止していたため、準備も遅れ、いろいろなところに迷惑をかけましたが、なんとか終えることができました。お手伝いいただきました、町づくり協議会、公民館、児童館、民生児童委員会、婦人会の皆さんには、本当にお世話になりました。今年は、どういう形で進めるか、以前の形に戻すのか、昨年と同じように進めるのか検討して、昨年以上のイベントになるようにするつもりです。



カーリング



さかなすくい



抽選会



物づくり

# 不動地区 自主防災連合会の活動

不動コミュニティ協議会



地震・津波避難支援マップ



防災マップを見ながら相談



避難所開設についての研修



避難所運営の相談

不動自主防災連合会は、平成二十八年に発足し、本年度で八年目を迎えます。本会は地区内における自主的な防災活動を行うことにより、地震・風水害・火災等の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的としています。町内会九地区の自主防災会及び各

種団体、事業所で構成されています。二年前には、地震・津波・洪水避難支援（防災）マップづくりに取り組みました。徳島大学の田村隆雄先生や防災対策課の方から、想定外の災害に対しても落ち着いて避難ができるように「住民一人ひ

とり」が安全な避難場所や避難経路を「事前にあれこれ考える」ことを助ける地域防災情報地図を作成しました。地区ごとに分かれて、過去の洪水が起こった状況を確認したり、分かっていることや心配なことを書き込んだりしました。また、「まち歩き」の結

果を様々な観点から避難につながる最適なルートを地図上に表し、防災マップを作成しました。完成した防災マップは、町内の皆さまにも配布させていただきました。今後は今回作成した防災マップを活用した研修会も開催できるようにしていきたいと考えています。

防災マップづくりの他にも年間何回か研修を開催しています。全国的に台風・集中豪雨による被害がたびたび起こっています。以前は危機管理局防災対策課の方に「コミセンにおける避難所開設」につ

いての研修会を行っていたことができました。町内会に大雨が降り、浸水したことを想定して、「テントの設置、投光器・発電機・簡易トイレの設置、感染症対策」などについての体験型研修を行いました。避難所運営はとても身近な問題であり、たくさんの方の参加者から意見も出て有意義な研修会を開催することができました。これからも様々な角度から研修を行い、みんなで助け合い町内の尊い人命を守り合える自主連合会を目指していきたいと考えています。

# 第二十九回 徳島市コミュニティまつり

## まつりを終えて

第二十九回徳島市コミュニティまつり

実行委員長 近藤 辰夫

令和五年十月二十九日(日)に四年ぶりとなるコミュニティまつりが津田コミュニティセンターを会場として行われました。三年間のコロナ禍による中止は、住民の方々が公民館講座等で平素練習している芸能を披露する場、地域の特色や物産を知っていた



会場と一体となる踊り

「年こそは！」という意気込みの出鼻をくじかれる状況が続いていました。このような中、一昨年からは公民館とコミュニティセンターとの統合が始まり、これまで別々に開催していた公民館大会もコミュニティまつりと一本化して開催を試みることになりました。

しかしながら、いざ実施の計画を立ててみるといくつかの問題がありました。まだ統合が済んでいない地区公民館からの参加資格や財源の問題、所管課間の調整などです。開催場所の決定にも困難をともないました。と言いますのも、従来のコミュニティまつり同様に日曜日開催としたため、これまで公民館大会で利用していた会場を確保できず、また、従来のコミュニティまつりのブロック持ち回りによるコミュニティセンターでの開催は、コミュニティ協議会側において、駐車場確保の



晴れやかに演舞する出演者

面から実施困難との意見が大半を占めたためです。

そこで、両協議会から代表を出して意見交換を行った結果、コミュニティまつり実行委員会・運営委員会が立ち上がり、津田コミュニティ協議会から会場の提供を受け、生涯学習指導員会(旧公民館主事会)と環和会が協力して運営にあたったことになりました。

令和五年度はまだ統合が進んでいない地区や公民館単独の地区もある中での過渡期的な開催でしたし、三年間のプランクによる出演者数減少や過密状態を避けるため抽選会をやめたことなどによる観衆



来場者で賑わう模擬店

の減少が懸念されました。しかし、まつりの当日は晴天に恵まれ、たくさんの方々が集まってくれました。そして出演した皆さまは久々の演舞に緊張しながらも実に楽しそうな表情を見せてくれました。やはりこういった「人々の集い」は必要であり、地域コミュニティでの「人と人との絆づくり」にはとても有効であると痛感した一日でした。

明けておめでとうございます。やっと感染症も落ちついてきました。各地区もコロナ前の活動が始まりました。コミュニティ便り九十五号をお届けします。

### 編集後記

内藤市長からは「地域の活性化や地域課題の解決に向けた取り組みに協力をお願いします。」島田会長から「私たちの町は、わたしたちで運営し助け合い、協力し合い絆を深めて行きましよう。」の挨拶がありました。

一宮下町地区からは一宮城跡と町づくりの報告、住吉城東地区からは子ども福祉まつりの報告、沖洲地区からは夏休みラジオ体操の報告、多良中央地区からは町づくりの取り組みについての報告、昭和地区からはインターネットを活用しての報告、不動産地区からは自主防災連合会の活動報告、最後に、第二十九回コミュニティまつりの様子の報告をしています。

令和六年が皆さまにとって良き年となりますよう心からお祈りいたします。

(大川良文 記)